

基本的考え方

接触確認アプリ（COCOA）の活用を勧める

1. 3密を避ける

- 【密閉】 ・開放しても発表に影響ないドアの常時開放
換気 ・休憩時間に全ドアの開放
・換気装置のある会場は全て換気

- 【密集】 ○受付で間隔を空けて並んで貰う
○**会場での定員厳守**
・どちらも誘導係を置く

ソーシャルディスタンス
（1 m）の確保

- 【密接】 ○**マスクを付けることの徹底**
○**食事などのマスクを外した時に会話しないことの徹底**
○喫煙所の閉鎖 閉鎖されていない会館での使用しないことの徹底
・会場アナウンスで徹底
・参加券、報文集などは直接受け渡ししない
（直接受け渡しするなら、手袋をつける）
・喫煙所の閉鎖

《運営関係者（幹事・役員）》 前日準備・当日

- ・集合時、チェックリストの提出、体温測定 →実行責任者に集約
- ・チェックリストに該当項目のある場合は、当日自宅待機
- ・マスク着用＆ソーシャルディスタンス確保（参加者の手本となるように）

《開催前》 ・**企業連絡窓口リストの作成（行事担当）**

参加企業ごと参加者名簿の作成（通常の窓口リスト＆参加申込書で可）

- ・**幹事・役員の運営側参加者リストは地区事務局**

《大会中》 ・参加者の確認

- ・感染が疑われる参加者、運営関係者が発生した場合の対応策を講じる。
（使用施設と相談してマニュアル化）
- ・参加者、運営関係者が感染を疑われる症状を呈している場合速やかに隔離。
- ・対応するスタッフは、マスクや手袋、フェイスシールドなど着用。
- ・速やかに、医療機関へ連絡し指示に従って対処。
- ・対応の前後における手洗いの徹底。

《大会後》 ・感染が疑われる参加者、運営関係者が発生した場合、

- 保健所等の公的機関による聞き取りに協力し、必要な情報提供を行う。
- ・個人情報保護の観点から、参加者名簿等の保管には十分な対策を講ずる。

受付時の対応 ver.4.0

受付は、開催場所、運営の慣れに大きく影響されるので、
対応人員含めて都度、検討

△5.1 左記、受付時の注記追記

【必要人員】（人数見直し）
 発表者受付：受付3人、検温1人、誘導2人（体調不良者誘導含む） 計6人
 一般受付：受付2人、検温2人、誘導2人（体調不良者誘導、会場誘導含む）
 招待者受付＆参加券忘れ受付（一般受付に含む） 1人 計7人
 感染者疑い受付（退館をお願いする）：受付1人 計1人
 ◇受付は、マスク・フェイスシールド・手袋。 検温、誘導は、マスク・フェイスシールド 計14人

【凡例】
 受付全体リーダー リーダー



発表者受付

・発表会場、データ入力確認
 ・控室確認、リボンお渡し等

・会社名、氏名を確認
 ・チェックリスト確認、検温チェック

受付

受付

受付

予備マスク

1m以上
 △5.2 間隔1m以上に変更

参加券忘れ受付 招待者受付

受付

・会社名、氏名を確認
 ・リストと照合
 ・チェックリスト記入、検温
 ・招待者にはリボンお渡し

体調不良者受付

体温計

受付

・会社名、氏名を確認し、帰宅して貰う
 ・会社窓口へ連絡

・本人の主張により再度検温しても良いが、
 37.5℃の体温で外出していることがおかしい。
 （通常は、37.0℃が判断基準）
 帰宅して貰った方が良い。

受付の行列が
無くなってから退館

・公共交通機関で来館された人は、
 公共交通機関で帰って貰う



リストを持って受付振り分け。
 飛躍成果（10/22）ではここがネックで
 受付が遅れた

会場ごとの受付に対し、発表者は会場が
 わからない。（前日リハーサルしているのに）
 その対応として、プログラムリスト等を持って
 発表者会社名などより発表会場受付に
 割り振る誘導が必要

【振り分け】も実施（リスト必要）
 氏名を確認して 受付場所に振り分け

消毒液

誘導

振り分け

検温

体温計

37.5℃以上
 の人の誘導

誘導

・受付案内
 ・列で間隔（1m）をあけるよう注意

検温

体温計

誘導

消毒液

消毒液

《検温》
 5秒×200人＝1000秒（16.6分）

検温

体温計

チェック表は
 机上に置いて貰う

予備マスク

受付

一般（聴講者）受付

△5.2 間隔1m以上に変更
 1m以上

誘導

・会場案内

予備マスク

受付

・チェックリスト確認
 ・検温チェック

発表会場

スクリーン

写真撮影時

2人の距離を確保するために机2本使用
もしくは、通常の机配置でマスクを使用して講評

講評者

発表者

会場世話人席

※写真撮影：
記念品の手渡し無し、握手なし、で並んで写真撮影のみ
記念品などは、パソコン机に置く

5.1 マイクの本数見直し

可能であればマイクは5本
世話人2本、発表者2本、インタビュアー1本

演台前面
シールド

2人発表用
シールド

発表ナンバー表示
切替は発表者誘導係

発表者ごとに消毒
するのはマイク

マイク：発表ごとマイクカバー交換
2人発表時、演台を二つに仕切るシールド設置

【進行】

- ・第1会場以外は、開会あいさつ、お知らせも伝達
- ・会場司会なしで、会場世話人が司会者も兼ねる。

【必要人員】

会場チーフ、発表者誘導、パソコン、プロジェクタ&写真 4人
会場世話人 2人
会場入口に聴講者誘導係：
会場に定員以上の人が入らないようにコントロール
(参加人数が多くなければ、誘導係を特に置かない。)

- ① 補助者は手指消毒をしてパソコン操作。終了後も手指消毒。
- ② 密にならないように前の補助者が戻ってから、次の補助者が着席
- ③ 持ち込みパソコンは休憩時に入れ替える



5.0 インタビュアーマイクの取り扱い追記

【発表会でのインタビュアーマイクの取り扱い】

- ・質問者のマスク着用の徹底
- ・マイクにはマイクカバーをする
- ・マイクは除菌シートで除菌した後、インタビュアーから質問者に渡す。質問者から返却されたマイクは、インタビュアーが除菌シートでマイクの持ち手を拭く。
- ・マイクカバーは原則除菌シートで拭かなくても良い。万が一、質問者がマスクを外して喋った場合は、マイクカバーの交換をする。
- ただし、座席奥の方の質問者の方は通路まで出てきてもらい、マイクを渡すことが必要。

☆別法として、インタビュアーがマイクと消毒液スプレーを持ち、質問者がマイクを持つ前と持った後に手指消毒をして貰う。

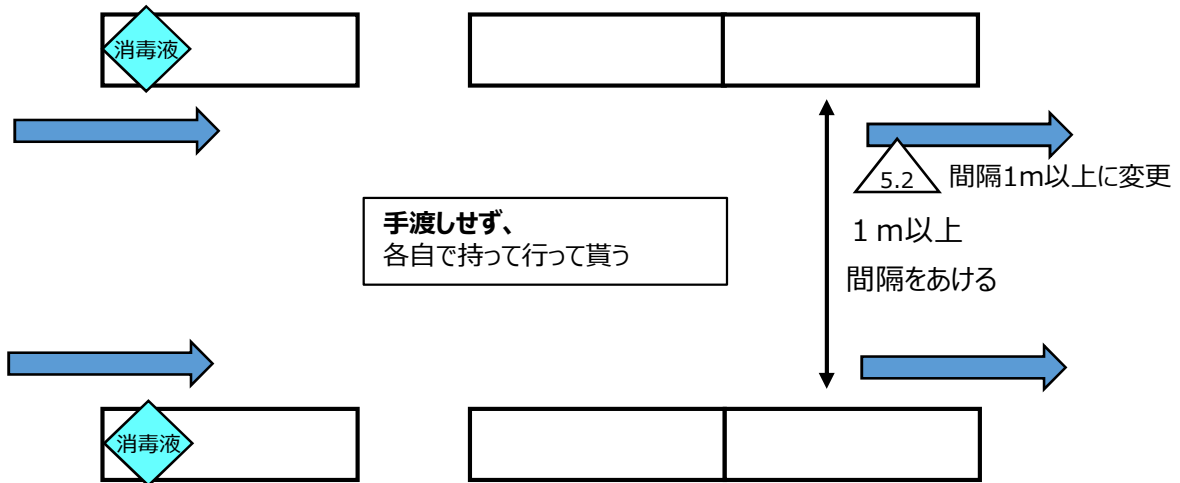
昼食時の対応

弁当配布時

基本的に各会場で配布
各会場で動線確保

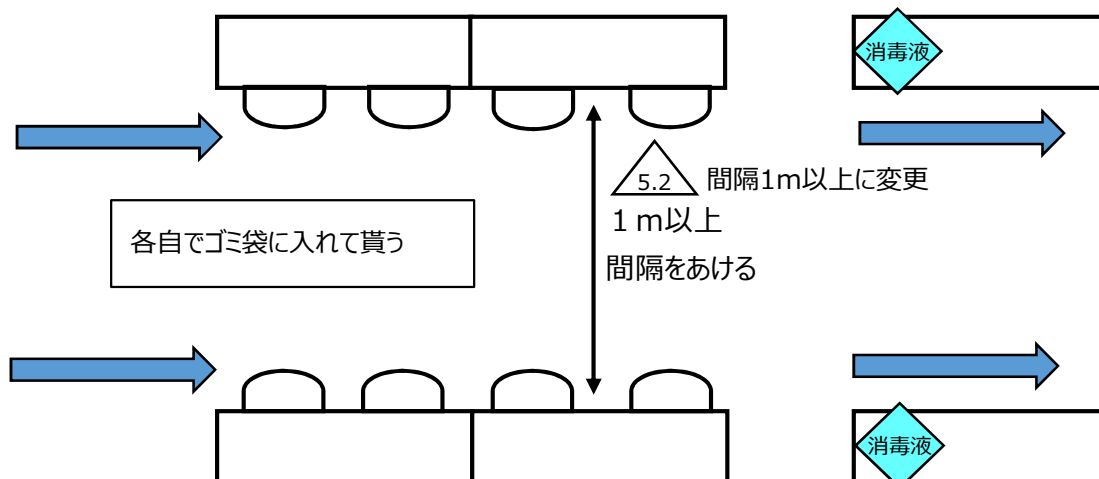
参加者に対して
※マスクを付ける（徹底）
昼食時等 マスクを外した時は“しゃべらない”

お弁当は極力ラップ等で包装
されたものにする。



弁当殻回収時

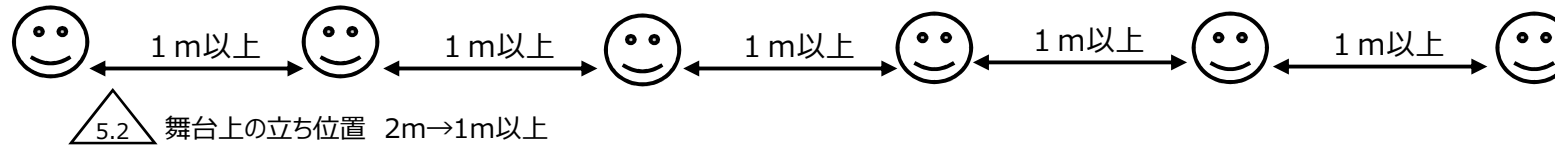
ゴミ袋の回収には手袋を着用する。
作業後は、石鹼と流水で手洗い。



表彰式

△5.0 舞台上上がる時、消毒追記

呼ばれて舞台上に立った時



表彰状

表彰状等 仮置き台

表彰は、舞台上に立って、ひとりひとり呼ばれて地区長（表彰者）が表彰
表彰状のみお渡し、その後写真撮影 楯などは舞台そでで後からお渡し

舞台そで（受賞者以外）
表彰状等 仮置き台
閉会后発表者に受け取りに来て貰う

シールドの前で賞状を読み上げ前
へ移動して無言で手渡し

表彰者は読み上げ前に
都度、手指消毒

消毒液

地区長（表彰者）

発表者（受賞者）

全面シールド

舞台

読み上げ前に都度手指消毒をして貰って、全面シールドを使って賞状の読み上げならば、
マスク、フェイスシールド、手袋不要⇒表彰後並んで記念撮影

【進行】

- ・受賞者は名前を呼ばれたら客席で立って返事をして、地区長賞のみ舞台上上がる。**舞台上上がる時に手指消毒**をして貰う。
- ・表彰順は、地区長賞、優秀賞、優良賞（**地区長賞読み上げたサークルに登壇して貰い、全員揃ったら地区長より表彰**）
- ・舞台上上がるのは、地区長賞と優秀賞代表1サークルのみ。登壇しない優秀賞、優良賞はその場で立って客席側に向いて貰う。（表彰式は客席も照明あり）

△5.3

【必要人員】

会場チーフ、発表者誘導（舞台の所定の位置、表彰を受ける位置、などへの誘導） 2人
会場入口に誘導係：会場に定員以上の人が入らないようにコントロールする。（参加人数が多くなければ、誘導係を特に置かない。）

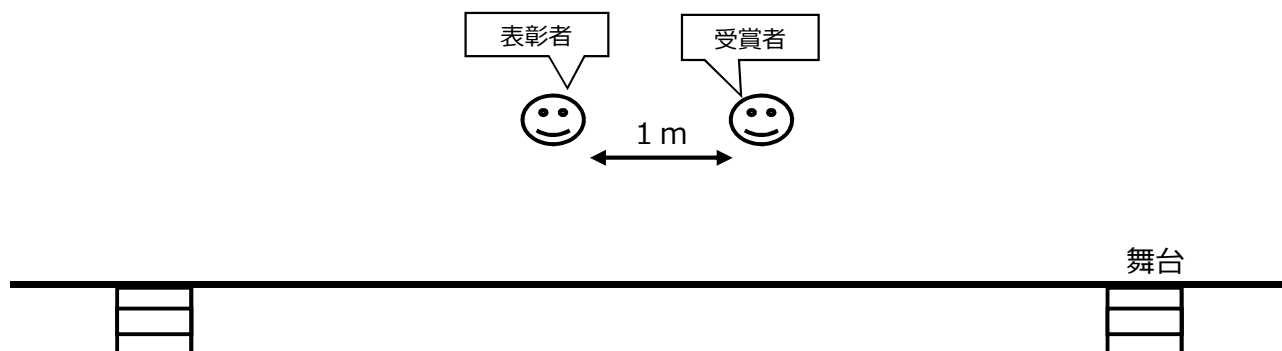
表彰式で（写真撮影）

地区長賞、知事賞のみ（表彰状をお渡しした後に写真撮影）

地区長：フェイスシールド＆手袋を外して受賞者ひとりずつ撮影

知事代理者：フェイスシールド＆手袋を外して知事賞受賞者ひとりずつ撮影

閉会式後の集合写真は撮らない



2.0 写真撮影を追加

大会終了時の対応

